

# 検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2010年8月9日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.139】

## JR総連・東労組は革マル浸透を認めた政府答弁への見解を示せ！

前号では、8月3日の衆議院予算委員会で自民党平沢勝栄議員がJR総連・東労組への革マル派の浸透を認めた政府答弁書と、参院選で民主党がJR総連組織内候補を公認した問題を厳しく追及したことを紹介した。中井洽国家公安委員長は、答弁書は「事実である」と明言し、閣議に先立ち、内容を党に伝えた経過を答弁した。ところで6月13～15日の東労組第26回定期大会に来賓出席した、東労組推薦議員等懇談会の代表世話人を務める民主党山岡賢次副代表は、当該答弁書の件について次のように述べた。

JRさんをお願いを申し上げたいのは、本当に何としても田城さんを今度の選挙で、しかも立派な成績でですね、当選をさせていただいて、民主党の直接内部にお入りをいただき、そこからですね、いろいろとのこの民主党とJRさんの、あるいは国民の皆様との絆を強めていっていただきたいと、こういう思いでございます。先程お話しがありましたけども、国会に、内閣に対して質問主意書ということを出せるようになってございますが、なんでですね、あろうことか栃木4区の佐藤勉という人なのかと、不思議ではないでございます。...(中略)...これはですね、当然JRさんへの攻撃であると同時にですね、私への攻撃でもあるわけでございます。そんなことは充分覚悟の上でですね、この対応についても内閣に対して強く抗議を申し上げました。何をやっているんだと、こういうふうに申し上げましたらですね、何となくボソボソボソボソ答えておりましたけども、その答えによればですね、こういう質問主意書というのはある程度機械的に処理をしております、警察がですね、この関係者がそれに対する担当としての答えをあげているんだと、しかし内閣できちんと把握をしているんだらうと、こう申し上げましたら、最終的にはですね、その扱う大臣、つまり警察を担当している大臣になるわけでございますが、特に名前は申し上げませんが、西の方にいらっしゃる大臣さんであるわけでございます。そういうことで、その結果のあとの話ということになったものですからですね、今後こういうことは十分注意するようにと、こういうふうには申し上げておきました。...(中略)...是非とも田城さんを当選をさせていただいてですね、皆様の直接の窓口をして、内部で働いていただきたいと、そしてそういうこの田城さんからのご要請があれば、私も党の副代表と党の立場で仲間を募ってですね、そういうことを行われないように、あるいは事前に防げるように、全力を挙げていきたいと思っております。

### 政府は現在もJR総連・東労組に革マルが浸透していると明確に認識！

山岡副代表は「(田城氏に)民主党の直接内部にお入りをいただき...民主党とJRさんの、あるいは国民の皆様との絆を強めていっていただきたい」と述べたが、政府見解に照らして、そうした認識はどうか。「警察を担当している大臣」「西の方にいらっしゃる大臣」が中井大臣を指すことは明らかだ。山岡副代表は「質問主意書はある程度機械的に処理」しており、「今後こういうことは十分注意するように」と述べたというが、東労組に気を遣ったとしても、閣議決定を「機械的に処理」とする認識はいかかなものか。

中井大臣は「JR総連・JR東労組と革マル派の関係については、革マル派が相当浸透していると認識しているのは事実である」と明言した。JR総連、東労組は1999年12月まではJR内に革マル派組織が存在し活動してきた事実を認めたが、政府は、今もなお、革マル派が相当浸透していると断定しているのだ。JR総連・東労組、そして田城議員は、この政府答弁に対する見解を明らかにしなければならない。